

令和7年度 事業計画

1. 基本方針（理事長：窪田 茂）

コロナパンデミックが終わり、アフターコロナの時代となりました。人々が集まる事は日常に戻り、オンラインを上手く使い分けながら仕事をし、働き方も変化をしてきました。ITの世界においては、AIの進化が凄まじく、一気に世の中の構造を変えようとしております。AIによって私達のクリエイティビティが脅かされるような状況になりつつありますが、私達は最新技術を身につけながら、人や街、社会に対してリアルな場づくりを目指していかなければなりません。

ここ数年、JCDは正会員数も賛助会員数も増えてきております。これは、最近の他のデザイン団体と比較しても稀な状況ですが、今後も会員数を維持していく、若しくは増やしていく事は、協会の運営と存続には必要な事ではありますが、それよりもJCDに入って良かったと思えるような団体でありたいと思っております。以前理事会で承認して頂いたアンバサダー制度は、なかなか上手く動かせておりませんが、新しい施策も含め、メンバー同士の関係強化、JCDの認知度向上、メンバーである事のメリットを創り出し、JCDのメンバーになって良かったと思えるような環境を目指していきたいと考えております。

今年は、EXP02025 大阪・関西万博の開催に合わせ、JCDの総会を大阪で開催します。世界中から人が集まり、様々な文化交流が交わされる中で、JCDとしてもいい勉強の場に出来ればと思っております。

本年度も、能登における被災地支援の継続、日本空間デザイン賞のさらなる発展、国際的な地位の獲得、その他JCDの様々な活動をより充実したものへと発展させていきたいと思っております。

2. 主要事業計画の概要

（1）事業部（部長：大滝道晴）

<事業部委員会全体>

○各事業部において、社会状況、経済状況等を鑑み、時代に対応した組織テーマ性や慣例的な課題を見直し、絶えず進化する事業部活動を目指す。

*ex「サステナブル」に関する事項等。

<各委員会>

○収益を生む事業として活動（ex.Sodaと東京ドーム）

○停滞感テーマのある各委員会のチェック確認。

① デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

日本空間デザイン賞 2025 の事業計画は以下のスケジュールである。

○2024 年 12 月中旬令和 7 年度日本空間デザイン賞委員会キックオフミーティングを開催。

これ以降、月一回の定例会議とする。

○2 月末までに三次審査員の決定

○応募要項の告知を 2 月下旬に開始する。

○2025 年 3 月 28 日（金）～5 月 15 日（木）公募期間

○5 月 29 日一次審査員への審査方法説明（WEB 会議）

○5 月 30 日（金）～6 月 6 日（金）WEB 一次審査

（審査員 A グループ 30 名、B グループ 30 名、C グループ 30 名、合計 90 名）

専門性を強めた審査員構成とする。

○6 月 11 日（水）一次審査後事前チェック

○6 月 14 日（土）一次審査調整会議 入選/Longlist を決定。17 日 Longlist 速報

○6 月 24 日（水）～7 月 1 日（火）WEB 二次審査

（審査員 A グループ 8 名、B グループ 10 名、C グループ 10 名、理事 9 名、合計 34 名）

○7 月 2 日（水）二次審査事前チェック

○7 月 5 日（土）二次審査調整会議 入賞/Short List を決定。10 日 Shortlist 速報

○7 月 12 日（金）～29 日（火） Short List 受賞者の A2 ボード 2 枚製作期間

○8 月 1 日（金）～19 日（火）三次審査員による事前 WEB 審査

○8 月 23 日（土）三次・最終審査 11 ジャンル各々に金賞、銀賞、銅賞を選出

場所は東京ウィメンズクラブを予定、会場での視聴者の参加を募る。同日、非公開で金賞 11

作品から KUKAN OF THE YEAR 1～3 作品を選出。発表は後日贈賞式において行う。

○11 月 21 日（金） 贈賞式及び懇親会 日本橋三井ホールにて開催。

●iF デザイン賞（ドイツ）との双方の連携、特典の設定を推し進めていく。

●受賞者は年鑑に掲載予定

●GOOD DESIGN Marunouchi において KUKAN DESIGN AWARD 2025 展を開催

懇親会パーティーを計画

●「デザインツーリズム視察ツアー」が両協会の会員メリットとなるように活動の輪を

広げていく。

② Soda 委員会（委員長：新藤 力）

Soda 委員会では、全国での継続的な小学校出前授業の活動を基軸としながら、「新たなフィールドへの参画」と「新たなプログラムへのチャレンジ」を目したいと考えています。

《新たなフィールドへの参画》

昨年 11 月にオープンした東京ドームシティ「TeNQ(てんきゅう)」で、宇宙をテーマとした新しい型ワークショップを提案しています。また、美術館が展示と収蔵だけでなく、アートを介したコミュニティを築く取組みを始めていますが、このソーシャルデザインへの参画を模索しています。

ex. 「アソビ冒険隊」・「とびらプロジェクト」など

《新たなプログラムへのチャレンジ》

横浜市立南太田小学校では、教室を身近な素材(ダンボール)を使って、居心地よく学べる空間にするプロジェクトを計画しています。また、西初石中学校では、「私たちの街に何があったらいいのか?」を考えることから始める、街づくりワークショップを計画しています。

学びにも変革が起こっています。「授業時間特例校制度」を利用して午後の時間を創造性教育にあてる、分野横断的な STEAM 教育[SCIENCE・TECHNOLOGY・ENGINEERING・ARTS・MATHEMATICS]の取り組みにも連携の可能性を感じています。

③シンポジウム委員会（委員長：大原信子）

1： デザインシンポジウム SECTION 65 開催予定

時期：2025 年秋頃、場所：未定

内容については未定ですが、魅力ある都心の街づくりなどをテーマにディベロッパー担当者とクリエイターを交えたトーク内容などを思案中。

2： タカハシツキイチ開催予定

－ 2025/3/13 ゲスト NOSIGNE 代表、JIDA 理事長 太刀川英輔氏（予定）

プロダクト・グラフィック・建築・空間・発明の領域を越境するデザイナーとして国内外で活躍する太刀川氏の創造力や思考力に迫る。

－2ヶ月に一度程度開催予定

④広報委員会（委員長：水谷晶人）

1)「ウェブサイト・SNSを利用した広報のシステム化」の強化

※特に各支部活動の情報共有の推進

2) JCDパンフレットのリニューアルを予定(voi.08)

3) SHOKANKY088(JCD WALLPAPER 03)の発行

2)「デザイナーのオフィス訪問」の開催

4)「PR TIMES」広報活動を予定。

5) クラウドサーバーの活用について進行予定。

6) JCDウェブサイトの見直し検討 (UI、UX)

7) 「JCDロゴ」調整の検討を進める。

⑤国際委員会 (委員長：武石正宣)

今年度も時期 EG に向かって日本側の準備を行います。

基本的には令和 8 年度に台湾で開催される予定ですが、北海道 EG の時に次期開催国が決定するのではないかと考えています。

もしかしたら、シンガポールや韓国など、EG に参加したい国になる可能性もあります。

APSDA に関しましては緩やかな脱退に向かい調整を行なっていきたいと考えています。

⑥ 賛助委員会 (委員長：羽隅斉明)

1. プロダクト・オブ・ザ・イヤー2025

令和 6 年度同様に 5 月頃からエントリーを開始。従来通り一次審査 (予選) と二次審査 (本選) で実施し二次審査はリアルで開催する。表彰式は従来通り賀詞交歓会が望ましい。月 1 回の賛助委員会会議にて一次審査の応募費用の金額を決定、わかりやすい投票方法、二次審査の審査員、会場など含め詳細を詰めていく。

またエントリー時には受賞、入賞の場合はジャパンショップへの出展に費用がかかる旨なども案内する。

収支に関しては約 15 万赤字の状況だが、応募料の上記検討に加え、応募数増の声掛けを引き続き行い改善を図っていく。

2. ジャパンショップ 2026、他展示会への出展

POY 受賞、入賞製品の発表の場は今後も必須と捉えており、引き続きジャパンショップ委員会とも連携し取り組んでいく。以外の展示会出展においても条件次第では検討する。

⑦ 空間委員会 (委員長：斉藤 忍)

1. 空間デザイン機構、空間年鑑刊行委員会

【空間デザイン機構】

◆JAPAN SHOP 2026 出展に向けた新たな体制づくり

ジャパンショップの空間デザイン機構ブースについては日経新聞社から集客の工夫や新たな企画の打ち出しを強く求められている。昨年度第 2 回理事会にて JAPAN SHOP 2025 の計画を進めていくにあたり実行委員会を組織することが決定し現在メンバーの人選をおこなっている。

【空間年鑑刊行委員会】

◆年鑑日本の空間デザイン 2026 発刊に向けて

今年 2/4 に開催した、第 1 回刊行委員会にて日本空間デザイン賞委員会との合同会議を開催することが決定した。MTG の目的は、互いの立場を理解しアワードと年鑑の相乗効果をねらうために行えることや、空間デザイン賞の運営側からの課題解決について意見交換をおこなうこと。いままで相互のコミュニケーションが不足していたと感ずるため、発展的な意見交換をおこない、今後のより良い補完関係、協力関係を築いていくきっかけとしたい。

2. JAPAN SHOP JCD ブース実行委員会

◆JAPAN SHOP 2026 に向けて

- ・3/4～3/7 で開催された JAPAN SHOP 2025 が終了。
- ・JCD ブースの企画構成について、前年度同様に①注目のデザイナーによる展示、②POY 受賞&入賞製品の展示、③トークラウンジでのセッションを主軸に展開したが、次回については新たな企画の打ち出しが不可欠となる。今回のふりかえりと反省の MTG を 3 月～4 月に開催し、新たな体制構築と企画立案に取り組む。引き続き皆さんのご協力をお願いいたします。

⑧ 交流委員会（委員長：村上 敦）

- ・2026/01 賀詞交歓会
- ・時期未定 DSA 交流会（現在 DSA 交流委員会委員長と計画中）
- ・時期未定 JCD CYCLE 活動
- ・不定期 IDM 活動
- ・その他、各委員会イベントのフォロー等

DSA や IDM との交流、連携は一部の人でなくできるだけ多くの人に参加してもらうことを目標としたい。

正会員と賛助会員の交流を深くするために賛助委員会との連携を深めたい。

（2）支部統括部（部長：小田秀樹）

■令和 7 年度・全国支部長会議事業計画

- 1) 今期も引き続き全国支部長会議を Zoom 会議で 2～3 ヶ月毎に開催する。
- 2) JCD design circuit ○○支部を 5 支部で開催する。
 - テーマ：次世代に伝えたい事や学びなど。（若手発掘や次世代の学生への交流も含む）
 - 5 支部開催：東北支部、関東支部、中部支部、中国支部、沖縄支部
 - 開催内容：セミナー、デザイン賞パネル展、学生コンペなどを支部の裁量で開催する。

●開催支部はアーカイブとして「録画、写真、開催レポート」を記録して本部と共有する。

3) 11月下旬頃にリアル支部長会議を関東支部主催で開催する。

4) 各支部のイベント案内は本部・広報委員会に資料提出して JCD ホームページに告知をしていただく。

5) 各支部のイベント活動の回数を増やす様に努め、支部間の交流を増やし情報の共有をしていく。

6) 今期も会員の増強に各支部努力し最低 2 名の会員増を目標とする。

① 北海道支部（支部長：久保徹宜）

「JCD の活動であたらしいつながりを広める」

新規イベントの開催や告知案内などの見直し、他団体との交流などを増やし、若い世代の正会員の獲得と賛助会員の増強を行い北海道支部のデザインの広がりを目指していきたいと考えます。

北海道支部総会

【概要】 令和 6 年度活動及び収支報告、令和 7 年度活動計画、予算（案）承認など

【日程】 令和 7 年 4 月下旬 場所、日程未定

運営会議

【日程】 5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月予定

全国総会【大阪】、交流会、SODA、新規イベント、アワードの打合せ

交流会

【日程】 8 月下旬 場所未定

新規イベント

【日程】 9 月上旬 場所未定

他団体合同イベント

【日程】 10 月上旬 場所未定

SODA in 桑園小学校

【日程】 12 月 場所未定

北海道のデザイン 6 団体合同のクリスマスパーティー

【日程】 12 月

定期開催デザイナーズクリスマスパーティー

北海道インテリアプランナー協会。北海道インテリアコーディネーター協会 北海道デザイン協議会

JIA、DSA、JCD 北海道支部との 6 団体合同のイベント

新年会

【日程】1 月上旬 場所未定 アワード前の運営会議を兼ねて開催

北海道支部パネル展＋ design circuit

【日程】 2 月中旬 場所 地下歩行空間 チカホにて

セミナー及び交流会開催

年度末懇親会

【日程】3 月中旬 年間イベントなどの結果報告と改善会議を兼ねて開催 場所未定

② 東北支部（支部長：大塚真司）

【今年度の方針・目標】

- ・東北支部主催のデザインアワードの方法、仕組みを構築し開催に向けて準備を進める。
- ・正会員の高齢化に伴い、若手のデザイナーの発掘及び正会員の勧誘に力を入れる。
- ・デザイナーキットの様なセミナーの開催（小坂竜氏セミナー 青森開催）

【主な活動スケジュール】

4 月 1 1 日 東北支部役員会

- ・令和 7 年度活動計画及び令和 5 年度収支報告
- ・令和 8 年度全国総会 東北開催に関して → 準備委員会の発足

5 月 2024 年日本空間デザイン賞パネル展（五所川原市 E L M）

6 月 2 7 日 東北支部定時総会（山形市予定）

- ・地区長会議/通常総会（収支報告・活動計画・予算案等の承認）
- ・賛助会員企業、商品 P R
- ・勉強会（正会員に依るデザイン発表会）

6 月 2 8 日 東北支部ゴルフコンペ（山形県内予定）

近郊視察

7 月 2 5 日 ビアパーティー開催（仙台）

9 月 デザインキャンプ（山形県庄内地区予定）

- ・建築/インテリア視察
- ・賛助会員企業、商品 P R
- ・勉強会（正会員に依るデザイン発表会）

1 0 月 4 日 東北支部ゴルフコンペ（宮城県内予定）

1 0 月 Soda ワークショップ開催（地区調整）

1 1 月 2 0 2 4 年日本空間デザイン賞パネル展（仙台工科専門学校 1 年生）

- 1 2 月 忘年会（仙台）
2 月 デザインセミナー（青森）

③ 関東支部（支部長：木村倫香）；令和7年度事業計画

（品川正之副支部長、村上敦副支部長）

■研究セミナー委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、木之内憲子委員

1. 4 月「とくトーク」開催予定「パネラー：西脇一郎」
2. 7 月「とくトーク」開催予定 のれん会とのコラボレーション
3. 10 月「とくトーク」開催予定 のれん会とのコラボレーション
4. 2026 年 2 月「とくトーク」開催予定 のれん会とのコラボレーション

■支部賛助委員会：品川正之委員長、原康喜副委員長、松田好且副委員長、
藤原巧副委員長、棟方義雅副委員長、藤光祐副委員長

原則月 1 回の委員会を開催し、下記掲載の活動目標の推進を図る。

- ・ 関東支部正会員及び賛助会員相互のコミュニケーションの活性化を図る。
- 正会員の委員会への参加要請（正会員と賛助会員とのコラボプロジェクト発表隔月開催）
- 交流を促進するための恒例の親睦イベント（花火会。BBQ 会、ボーリング会）を企画する。
- ・ 賛助会員のビジネスに寄与できるイベント等の企画をする。
- トクトーク、ノレンカイ、開催について研究セミナー委員会と協議検討する。
- ノレンカイとしてのユーチューブチャンネルの充実を図る。
- ホームページ賛助企業ショールームマップに新規会員の情報を追記する。
- ・ 本部賛助委員会、Soda 委員会等本部事業への協力。
- ・ 関東支部の他委員会と連携して、関東支部のイベントのサポートにあたる。
- ・ 賛助会員の意見を集約し、協会に意見具申する。

■広報委員会 WEB サイト部門：新宮和行委員長、木塚 潔副委員長、三原慎一副委員長

現在の web マガジン画面上で広告募集中となっている部分について、賛助会員様と広告料・掲載方法を協議し、6 ヶ月 ¥5,000 での募集となりましたが、まだ数社からの応募と少ない状況です。今年度は広報委員会からの声掛けと正会員・賛助会員様にも声掛けをお願いし多くの広告の獲得ができるように進めていきます。

また HP トップ画面の会員による作品について、正会員へ掲載の案内をし、常に変化のあるトップ画面になるよう進めていきます。

■広報委員会 SNS 部門：水谷晶人委員長、藤原巧副委員長

「JCD 関東支部 SNS」の監理

新たに立ち上げた Facebook ページと Instagram の認知度を上げる為に

下記3つの役割を明確化する。

- 1) SNSを使い関東支部の情報発信。
- 2) コミュニティーを円滑にするツール化。
- 3) 関東支部の研修、イベントのアーカイブ化

■交流委員会：村上敦委員長、折原美紀副委員長、藤原巧副委員長

- ・9月頃夏のパーティ
- ・その他、関東支部各委員会イベントのフォロー等

■特別委員会：香野明穂委員長、山岸布美副委員長、根井 淳副委員長

見識深い会員同士の親睦を深められる有意義な研修旅行の企画・実施研修旅行を企画を行う。

10～11月予定。

開催時期・行先等、より支部会員の皆さまの参加のご希望がかなえられるよう、アンケート実施。3月～4月予定。

④ 北陸支部（支部長：木村嘉秀）

昨年の能登沖地震の支援活動を引き続き行いながら、学生との接点を増やしたり、会員増強の活動も続けていきます。特に石川県のメンバーを増やすために、「金沢会」みたいな飲み会を開催して金沢の増強に力をいれたいと思います。

令和7年

●6月下旬ごろ JCD 金沢会を開催

石川県のJCDのメンバー増強やイベント開催の打ち合わせを金沢の方々と話し合いたいと思います。

●7月中旬ごろ 5 DAYS 合同デザインインターンシップ開催予定

デザイナーズミートアップや合同フォーラムにより建築系の学生との接点が増えてきました。学生の間にもJCDの認知を上げようと思います。

●9月中旬ごろ JCD 和倉温泉宿泊及び被災地視察会

被災地を見てみたいという意見も頂きましたので再開した和倉温泉で宿泊して、その後被災地を見て回るツアー的なものが出来ればいいかなと考えて居ます。

被災地にたくさんお金を落としてきましょう！

●11月下旬ごろ JCD デザイナートークテーブル開催予定

北陸で活躍するデザイナーのトークセッション+立食形式のトークテーブル

●12月中旬 JCD 北陸忘年会開催予定

令和8年

●2月初旬 空間デザインフォーラム（富山）27回目

JCD DSA SDA 三団体合同イベント

- ・その他、中国支部のデザインデイズ含めて他支部のイベントにも積極的に参加していきたいと思います。

⑤ 中部支部（支部長：鳥居佳則）

今期も新たなトークセッション「SASHIDE」「デザインの森」を皮切りに中部支部らしい画期的なイベント開催に注力して参ります。

5月9日 第5回デザイントークセッション「SASHIDE」開催

- ・前田 翼（関東支部正会員）×神田健太郎（中部支部正会員）

5月30～6月1日 関西支部定時総会に出席（鳥居）

6月上旬 支部会議

- ・関東支部定時総会報告
- ・第2回トークセッション「デザインの森」について
登壇者推薦、スケジュール、会場決定
- ・第7回「中部商空間賞」一般部門贈賞式準備

6月下旬 第7回「中部商空間賞」一般部門贈賞式&シンポジウムを開催予定

7月中旬 支部会議

- ・デザインサーキットイン中部
第5回「中部商空間賞」学生部門公開審査&シンポジウムについて

8月下旬 第2回 JCD トークセッション「デザインの森」&交流パーティー開催予定

9月中旬 支部会議

- ・第5回「中部商空間賞」学生部門公開審査&シンポジウムについて
スケジュール、会場決定、
- ・第2回賛助会員によるトークセッションについて
登壇者、タイトル、スケジュール、会場決定

10月中旬 第5回「中部商空間賞」学生部門公開審査&シンポジウム開催予定

10月下旬 デザイントリプレックス事業イベント開催

- ・名古屋デザインウィーク2025連携イベント開催

11月上旬 支部会議

- ・第2回賛助会員によるトークセッション&大忘年会開催について

11月下旬 「日本の空間デザイン賞」DSA, SDA, JCD パネル展示予定

12月中旬 第2回賛助会員によるトークセッション&大忘年会開催予定

2月中旬 DSA, SDA, JCD3 団体によるデザインシンポジウム開催予定

⑥ 関西支部（支部長：中村裕輔）

■0 大阪デザイン団体連合の取り組み（万博委員会 etc）

■ 関西支部・各委員会の合同委員会の実施（月 1 回以上）

■ 機関紙の発刊

4 月 機関紙「JCDkansai」の発刊

5 月 28～6 月 24 「大阪アート&デザイン展 2025」

USD-0 として大阪デザインセンターにて出展

5 月 31 日 定時総会の開催

・翌日 6 /1 日に「大阪ツアー」の開催

6 月 11 日 USD-0 主催「WIW KOBE」の参加

神戸ハウジングデザインセンター大ホールにて開催 ・斉藤氏が登壇予定

6 月 NEXT GENERATION「学生とメーカーのコラボレーション」最終発表

7 月 10 日～11 日 JAPAN SHOP 大阪の出典

インテックス大阪での開催のジャパンショップへの協力 USD-0 ブースでの展示

9 月 「デザインウィークエンド大阪」に USD-0 として出展

9 月 修成建設専門学校「インテリアデザインスケッチ JCD 賞」の審査

12 月 mebic 主催「空間プロデュース展 AUTUMN」の参加

大阪産業創造館にて開催 DSA 関西と共同展示

12 月 3 日 クリマスイイベント開催

・賛助会員新商品説明会

1 月 絵馬展の開催

大阪デザインセンターにて USD-0 主催にて開催

1 月 大阪市商店会総連盟主催 大阪市あきないグランプリ表彰式

JCD 賞の表彰

2 月 修成建設専門学校 卒業計画審査・学科編成会議への参加

3 月 「日本の空間デザイン」アワード作品展示

JCD, DSA, SDA, JID の合同展示

未定：住まい情報センタータイアップ事業「みんなで創る商店街」

「出前授業・みんなで創る商店街」にて子供の模型創りのワークショップ。

依頼学校を募集中。

⑦ 中国支部（支部長：藤坂浩匡）

中国支部の活動方針は昨年度同様、「会員数アップを実現し、中国支部から JCD の活性化を図る」をテーマに一年間活動をしてきます。正会員が増えるという事は JCD 活動を支えてくれている賛助会員にとって大きなメリットに繋がると考えます。また若手が増える事で組織の底上げを行い、次世代へ繋ぐ組織造りのきっかけの年にします。

また、昨年再開した「SODA 事業の開催」で、子供たちにデザインの素晴らしさを伝えたいと思います。事業には大学生も巻き込んで JCD の魅力発信をします。

そして他支部の事業へ出向き交流・懇親を深めて個々の成長、支部の活性を図ります。

令和 7 年度事業内容

- 組織改革・・・若手正会員の増強、賛助会員との連携強化
- 例会活動・・・本部、支部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動計画立案。

親睦活動などに加え、正会員の業務近況報告にて賛助会員へ
有意義な情報を発信する。

令和 7 年 4 月 26 日 支部総会及び第 1 回例会

〔前年度事業報告・新年度事業計画発表・新組織発表〕（岡山）

令和 7 年 6 月 27 日 第 2 回 【会員増強を図る特別企画例会】&ビアパーティー（広島）

令和 7 年 8 月 22 日 第 3 回 例会&ミニセミナー（福山）

令和 7 年 10 月 10 日 第 4 回 例会&ミニセミナー（岡山）

令和 7 年 12 月 12 日 第 5 回 例会&ミニセミナー&大忘年会（広島）

令和 8 年 2 月 20 日 第 6 回 例会&ミニセミナー（福山）

- 鍋塾・工場見学・デザイン研修旅行

9 月もしくは 10 月

ケイミュー株式会社奈良テクノセンター見学会を兼ねて研修旅行

- 地域活動

令和 7 年 11 月 「第 20 回 JCD 中国支部デザインデイズ I N 広島」

本年度は広島で開催します。また Design Circuit の担当の年になります。

開催テーマをしっかりと捉え、充実した事業にします。

岡山県・広島県の大学・専門学校生に多く参加して頂き、

学校・学生との繋がりを更に強固なものにしたいと思います

開催内容：日本商空間デザイン賞展示・JCD 中国支部空間デザイン賞

学生デザインデイズ・基調講演セミナー

- SODA 事業

開催時期・対象学校は協議して決定予定。学生の協力も頂き充実した SODA 事業にします。

⑧四国支部（支部長：寒川洋次）

- 1、他団体との交流をさらに活性化させ会員増強に繋げる。（定款正会員 20 名以上目標）
- 2、支部間の連携を強化し、他支部のイベントに積極的に参加する。
- 3、学生アワードを継続（次回 3 回目）、ブラッシュアップし、地元の人材育成に寄与する。
- 4、地元四国の次世代が参加しやすい環境づくりと育成をめざす。
- 5、賛助によるセミナー／研修を随時開催し、入会メリットを感じられる支部運営を行う。

■事業予定

- 4 月 支部例会 お花見会開催予定
- 4/22 万博ツアー（香川県デザイン協会と共同）
- 5 月 定時総会（四国支部万博ツアーも検討中）
- 6 月 支部例会予定（総会報告）
- 8 月 支部例会開催予定
- 10 月 支部委員長会予定（愛媛会員交流ツアー等）
- 11 月 中国支部デザインデイズ参加予定
- 12 月 四国デザインフュージョン予定
- 1 月 賀詞交換会
- 2 月 支部例会予定（賛助会員セミナー）

⑨九州支部（支部長：深町俊彦）

九州支部は、定例会を毎月開催しています。

九州支部の新たな事業活動の柱を作るべく活発な協議を引き続き。月一の定例会を中心に行ってまいります。

又、今後も日本空間デザイン賞パネル展の充実を図る為、他団体との協調を図っていきます。

SODA 事業と少し趣を変えた支部ならではのデザインスクールキャラバンですが、今後も定例化し事業の一つの柱として行きます。

令和 6 年の年度末 2 月に「デザインサーキット in 九州支部」を開催しました。会員増に繋がる楽しく魅力あるモノイベントを毎年開催出来る様協議を進めて行きます。

支部例会も、正会員と賛助会員の大きなコミュのケーションを図る場として、大変有効に活用されていますので、今後も毎月の開催を基本に行い、魅力ある九州支部づくりを行なっていきます。

以下予定活動

「一年を通して、九州支部の魅力ある事業展開を図る協議を継続します。」

- (1) 4月～毎月 月例会開催（各種賛助セミナー・勉強会・懇親会）
- (2) 4月・第3回 JCD 九州ゴルフコンペ
- (3) 5月 JCD 全国総会参加
FUKUOKA デザインリーグ理事会及び総会参加
- (4) 7月 ビアパーティ開催
- (5) 7月 2024 空間デザイン賞パネル展の開催
- (6) 9月 or10月 デザインツアー開催
- (7) 11月 高木小学校（デザインスクールキャラバン）の開催・SODA
- (8) 12月 東若久小学校（デザインスクールキャラバン）の開催・SODA
- (9) 12月 九州支部忘年会開催
- (10) 1月 九州支部新年会開催
- (11) 2月 2025 空間デザイン賞パネル展の開催
[デザインセミナー開催を検討中]

⑩ 沖縄支部（支部長：山里健市）

1. 7年度も引続き イベントの完成度を高めて JCD の認知度UP と正会員獲得を目標とします。
2. 支部賛助会員との交流を深め 一体感ある支部を目指します。
3. SODA について 現在打合せ進行中で、10 月に開催を予定しております。
4. JCD OKINAWA 空間デザイン賞 2025 を開催致します。

■主な活動計画

- 1) 4～6月
 - ・支部定例会の開催（4月・6月）
 - ・異業種交流会参加（インテリア産業協会・IC 協会 他）
 - ・賛助委員会主催の工場見学・懇親会 等の計画～開催。
 - ・JCD 沖縄 空間デザイン賞 2025 実行委員会立上げ。
- 2) 7～9月
 - ・支部定例会の開催（8月）
 - ・JCD CREATERS BEACH BBQ 2025 の開催。
- 3) 10～12月
 - ・支部定例会の開催（10月・12月）
 - ・那覇市内の小学校にて SODA 開催予定（10月）
 - ・JCD 沖縄 空間デザイン賞 2025 開催。
 - ・同上 贈賞式 ～ トークイベントの開催。（11月）
 - ・JCD 沖縄 忘年会「モノズクリガンバッタ 2025」開催
(建築・インテリア・グラフィック。各デザインに関係する個人・他団体と1年を振り返って)

- 4) 1～3 月 ・支部定例会の開催 (2 月)
- ・SODA (出前授業/ワークショップ) の開催。

(3) 総務部 (部長：太細 通)

①財務委員会 (委員長：太細 通)

令和 7 年度予算は、事業活動収入 7,068 万円、事業活動支出 7,102 万円で、マイナス 33 万円 (収入比率 0.5%) の赤字収支計画となります。

内訳としては、本部が 5 万円の黒字、10 支部のうち関西・北海道・四国・沖縄の 4 支部が赤字で合計 101 万円。残り 6 支部が黒字で合計 62 万円です。10 支部合計では 39 万円の赤字の収支予算です。

昨年度と比べ収支額が改善したのは 4 支部の北陸支部 18.2 万円増、中国支部 10.8 万円増、四国支部 7.2 万円増、中部支部 4.4 万円増、逆に収支額が減じたのは 4 支部で関西支部は 48.2 万円減、沖縄支部 32 万円減、北海道支部 11.4 万円減、関東支部 10.1 万円減で、東北支部と九州支部は変わりませんでした。

予算額のほとんどを占める本部は、昨年度は永続在籍会員の表彰費用等で 162 万円の赤字予算でしたが、日本空間デザイン賞実行費である設計奨励事業費が 389 万円増、Japan Shop 等の展示費が 332 万円増、10 支部への還付金が 70 万円増等、本部の事業活動支出計は大幅に 638 万円増を見込んでおりますが、会費収入が 226 万円増、事業収入が 579 万円増、計 805 万円の収入増により、前述のように約 5 万円の黒字予算になります。また本部の収益には職員の退職給付引当金を含んでいますので、その分を見込む必要があります。科目別に述べますと、事業活動収入において、会費収入は昨年度予算から 231 万円増の 3,694 万円。事業収入は昨年度予算から 537 万円増の 3,369 万円の予算としています。主たる事業収入は設計奨励事業 (日本空間デザイン賞) 収入が応募料等のアップで 411 万円増の 1,466 万円。及び展示会収入 1,017 万円ですが、これは 3 年前より主催の日経新聞社さまの配慮で Japan Shop で JCD 独自のブースを設けるようにしておりますが、今年度もその造作費全額 550 万円を協賛いただく予定です。

事業活動支出においては、昨年度予算より合計 661 万円の増となります。増額が大きいのは設計奨励事業費が 389 万円増、本部、各支部での展示会費が 312 万円増、講習会費が 130 万円増等、各支部も含めた各種事業の活性化に伴うものです。また支部長会議の支部での開催に伴う旅費交通費が 98 万円増です。事業費支出費が大きいのでは設計奨励費 (日本空間デザイン賞) が 1,179 万円、Japan Shop での独自ブース等の展示会費が 1,032 万円、企業奨励費 (プロダクトオブザイヤー) が 375 万円等です。

結果、収支差額は 33 万円の赤字で昨年度の 140 万円の赤字予算より 107 万円減、事業活

動収入比率では6.8%の減になります。

また正会員の会費収入は昨年度予算と比べますと131万円増、賛助会員の会費収入は全国・支部合わせ100万円、合計では約6.7%増です。

基本的に会費が事業活動の主たる源泉ですので、今後も更なる会員増強での会費収入増を図らないかぎりはこのからの大きな事業活動は望めません。昨年度同様会員増のためには本部、支部とも留保金の活用方法などを考えていく必要があるかと思います。皆さんで知恵を絞り会員増強を図っていきましょう。

②功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

当委員会の主務は、当協会／特別功労賞表彰規定などに則り、「JCD 功労賞・支部功労賞」「評議員」「顧問・参与」の候補者を会員から募り、推薦された各候補者の貢献度などの与件を審議し、該当する候補者を、理事会に推挙します。一方、JCD への社会的認知度や、地位向上策の一環として、継続的に「国交省大臣表彰」の候補者を選考し、理事会へ推挙しております。肝要なことは、誤謬なき・適正な推挙を心がけることです。

尚、当委員会は、小坂副理事長、太細専務理事、小田理事、奥平評議員、鹿目評議員、寒川評議員、金沢評議員、星の8名で構成されています。

3. その他会務に関する事項

（1） 功労賞表彰

令和7年度功労賞を以下の方に贈呈することを決定した。

特別功労賞受賞者

飯島 直樹 正会員（関東支部）

品川 正之 正会員（関東支部）

支部功労賞受賞者

松田 好且 氏 / 新興プラスチック株式会社 （関東支部）

野田 大策 正会員（中国支部）※故人 2025年2月 逝去

（2） 関係機関や団体との交流、その他の事業へ後援や協賛など

公益社団法人商業施設技術団体連合会、空間デザイン機構及びインテリア デザイン ミーティング（略称 IDM）への運営参加、一般社団法人日本空間デザイン協会との協働事業

である日本空間デザイン賞の推進、また新規事業及び継続して行われる各事業の後援、協賛を通じ積極的かつ実のある活動を目指す。